

平成25年10月6日
今週のベストショット



雁レクD ソルトベ이스ターズ 対 三苦ホーネッツ戦

見事ホーネッツ戦で完投勝利のソルト鶴野投手とダメ押し3ランを放った中村耕一郎選手。

写真：雁の巣ライナー 宇野元康

奈多グラウンド 1点差の接戦を制し塩浜ジャガーズが勝利！！

塩浜ジャガーズ（4勝4敗3分）0010100 2 内田○ー竹尾、堀内

三友クラブ （3勝7敗1分）0100000 1 足立●ー谷崎

HR：稲富（塩浜ジ） 盗塁：竹尾、岩崎、稲富（塩浜ジ） 杉山、安永（三友ク）

一回表、塩浜ジャガーズは簡単にツーアウトを取られるが相手エラーで出塁したランナーを二塁において、今林(秀)選手がライト前へヒット。このチャンスにランナーがホームを狙うも、ライト広瀬選手の好返球でタッチアウト。ジャガーズは先制のチャンスを逃した。一回裏の三友クラブも二番山本選手、三番谷崎選手の連続ヒットで一死一二塁のチャンスを作るものの後続が倒れ無得点。初回は両チーム0点からのスタート。試合が動いたのは、二回裏。先頭打者の福井選手が見事なセーフティーバントを敢行するが、走り出すと即座に転倒...！大きく試合を盛り上げるキッカケをつくり後続の杉山選手と広瀬選手が連続ヒットで一二塁のチャンス。相手エラーも引き出し三友クラブが1点を先取。しかし、塩浜ジャガーズも引き下がらない。三回表の先頭打者稲富選手が右中間へ大きな当たりで必死にダイヤモンドを駆け抜け意地の本塁打を放ち同点に追いついた。稲富選手は五回表にも味方が作った一死三塁のチャンスにレフト前へタイムリーヒットを放ち、今日2打点目の活躍。三友クラブは四回以降、ヒットが出ずチャンスを作れないまま試合が流れ、最終回最終打者もセンターへ抜けるかと思う強い打球を放つも、内田投手の固い守備でピッチャーゴロに仕留めゲームセット。両チームともテンポよくインニングを積み重ね、久々に七回までの1点差の好試合を見せてくれた。今日は朝からグラウンドコンディションが悪く、一時は中止の可能性もあったが、塩浜ジャガーズや三友クラブの協力もあって何とか、反対側グラウンドで試合を行うことができました。試合消化が厳しい中、試合が行えたのは非常に大きかったと思います。協力頂いた皆さまありがとうございます。(記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



三友クラブ先発足達投手。



一回裏 センターへのヒットを放つ三友クラブ山本選手。



バックネット際見事なキャッチング三友クラブ竹尾捕手。



二回表、三塁手後のヒットで二塁へ好走塁ジャガーズ稗田選手。



二回裏、三友クラブ広瀬監督の送りバントが内野安打に！



絶妙なバントと思わぬ転倒で盛り上げる三友クラブ福井選手。



三回表、際どいタイミングで意地の本塁打ジャガーズ稲富選手。



強烈なゴロにうまさ光った三友クラブ福井遊撃手。



四回裏、ジャガーズ1-4-3のWプレー完成。



五回表 センター前ヒットのジャガーズ岩崎選手。



五回表、逆転のタイムリーを放ったジャガーズ稲富選手。



七回裏、強烈なゴロをさばき試合を締めたジャガーズ内田投手。

青松園B レッドの細かなエラーから大量失点で勝負あり！

レッドサンデーズ（3勝5敗1分）10002 3 土師●、田中一前田

新町パイレーツ（4勝4敗1分）1270X 10 八坂○-桐島

3BH：田中（レッド） 2BH：白岩（新町パ）

ぬかるんだマウンドで難しいピッチングの中、一回表レッドは、五番八島選手のタイムリーで先制し、なお満塁と一気に攻め込むチャンスであったが、パイレーツ八坂投手が踏ん張り1点でしのぐ。その裏パイレーツは、四球のランナーを効率よく三塁まで進めWPの間にあっさり追いつく。二回表レッドは、二死ながら一・二番でチャンスを作りWPでチャンス拡大と思われたが、パイレーツ桐島捕手の鋭い送球にてセカンドランナーをタッチアウト、無得点で切り抜けた。二回裏パイレーツは、表の攻撃とWPまで同じシチュエーションだったが、チャンスが拡大すると二連続タイムリーで一気に流れを呼び込んだ。その流れを確実にものにした八坂投手は、主軸を完璧なピッチングで抑え込む。するとその裏、レッドの細かなミスとパイレーツの打線が爆発し四連続タイムリーを含む打者一巡で一気に大量7点を奪い試合を決めた。最終回、田中選手の意地の三塁打が飛び出し主軸で2点を返すも後続が続かず終了。細かな所でのミスが痛い敗戦となったレッドサンデーズでした。

（記事、写真：奈多クラブ 吉田貴史）



完投勝利を挙げたパイレーツ八坂投手。



粘り強く投げたレッド先発の土師投手。



ぬかるんだマウンドでバント処理の土師投手。



二回表、パイレーツ桐島捕手のナイスリカバリー。



二回裏、パイレーツ九番大野選手のタイムリー。



続く一番桐島選手の連続タイムリー。



三回裏からリリーのレッド田中選手。



最悪のグランドコンディションの中での試合だった。

青松園A 実力あるチーム同士の熱戦両者譲らず痛み分け！！

奈多サンデーズ (9勝1敗1分) 22010 5 塚本-荒口

奈多フェニックス (6勝1敗3分) 20030 5 池見、今林(勇) -実延(新)

2BH: 秋山、江口(奈多サ) 今林(心)、実延(彰) 2(奈多フ)

盗塁: 野田、塚本、土田(奈多サ) 今林(勇)(奈多フ)

一回表奈多サンデーズの攻撃は二番野田選手の四球に三番秋山選手の二塁打でチャンスを作ると五番土田選手の中前へのタイムリーで奈多フェニックス先発の池見投手からいきなり2点を奪う！対するフェニックスは一番西藤選手が中前へ安打を放つと三番今林(勇)選手が四球を選びチャンスを作ると四番実延(彰)選手が中右へ二塁打を打ち相手のミスもあり同点となる。何とか主導権を握りたいサンデーズは二回表先頭の七番塚本選手が四球を選び九番江口選手の右への二塁打と相手の暴投で打者走者まで本塁へ帰り二点を勝ち越す。だめ押しをしたいサンデーズは四回表先頭六番宮口選手が中前へ安打を放つとWPで無死二塁のチャンスに続く七番塚本選手の左前安打に盗塁で二、三塁とチャンス拡大して九番江口選手の三塁ゴロの間に宮口選手の好走塁で1点をもぎ取る。これで勝負ありかと思われたが諦めないフェニックスは四回裏六番池見選手が相手の失策で出塁し、続く七番山村選手は中前でチャンス拡大。更に八番今林(文)選手の一塁ベース直撃の内野安打で続き、九番今林(心)選手の右二塁打で一点差となり一番西藤選手の犠飛で同点に追い付く。勝ち越したいサンデーズだったが五回表からリリーフした今林(勇)投手から2四球でチャンスは作ったが活かせず無得点。最終回となった五回裏のフェニックスは四番実延(彰)選手が左前へ安打を打ち好走塁で二塁を奪うが次打者の内野ゴロに飛び出してしまうタッチアウト。最後は池見投手が倒れ試合終了となる。両チーム共ミスはあったが力を出し尽くした見応えのある素晴らしい試合だった。(記事: 新町ウインズ 野中一史、写真: 早田主大)



ウォーミングアップをするフェニックスサイン。



試合前ミーティング中の奈多サンデーズ。



開始前整列、緊張MAX。



先発したフェニックス池見投手。



二年ぶりの首位打者を狙うサンデーズ一番木下選手。



一回表。2点目のホームインをする秋山選手。



先制の2点タイムリーを放ったサンデーズ土田選手。



タイムリーを放った直後に盗塁を決めた土田選手。



先発したサンデーズ塚本投手。



先頭打者として出塁したフェニックス西藤選手。



一回裏、西藤選手の激しいホームイン。



二回表、一時は勝越し打となる二塁打を放った江口選手。



四回表、5点目のホームを踏むサンデーズ宮口選手。



四回裏、タイムリーヒットのフェニックス八番今林文彦選手。



リリースしたフェニックス今林勇太選手。



激戦のスコアボード。

レクD 投打のかみ合ったソルトベスターズがホーネッツに快勝！

ソルトベスターズ（3勝6敗1分）1010104 7 鶴野○ー酒井

三苦ホーネッツ（7勝4敗0分）0020000 2 井手●ー松尾

HR：中村（耕）（ソルト） 2BH：八柄（ソルト） 盗塁：中村（祐）、中村（建）2、八柄（ソルト）

ソルトベスターズは初回、無死二塁から二番八柄選手のライト前適時打で先制をする。ソルトベスターズは三回にも1点を加えるも、その裏ホーネッツは一死二、三塁から二番洲上選手の適時打で同点とし試合は振り出しに。しかし、五回表ソルトベスターズはこの回先頭の一の中村（建）選手がレフト前の安打で出塁すると二盗、三盗と進塁しチャンスを広げる。その間にホーネッツ井手投手は巧みな投球で後続を三振、サードフライと打ち取り得点圏にランナーを置きながらも二死とする。しかし、二死ながらもランナーは三塁。そしてバッターは前の打席でセンター前への安打を放っている四番田中（広）選手。打球はピッチャー返しとなるがこれが強襲安打となり、ソルトベスターズが1点を勝ち越す。1点を追うホーネッツは三回以降完璧にソルトベスターズ鶴野投手に抑えられ、得点を奪うチャンスすら巡って来なかった。そして最終回、ソルトベスターズは中村（耕）選手の3ラン本塁打が飛び出すなど4点を追加しこれがダメ押しとなった。最後は鶴野投手がしっかりと三人で締めてゲームセット。投打がかみ合ったソルトベスターズに軍配が上がった。

（記事：雁の巣ライナーズ 明瀬旭 写真：宇野元康）



巧みな投球で力投するも報われなかったホーネッツ井手投手。



七回を投げ、ホーネッツ打線を2失点に抑える好投を見せたソルトベイスターズ鶴野投手。



三回裏、同点後センター前に安打を放つ稲葉選手。



五回表、先頭でレフト前を放った中村（建）選手。



七回表、ダメ押しとなる本塁打を放った中村（耕）選手を迎えるソルトベイスターズベンチ。



本塁打を放ったソルト中村（耕）選手。

第20週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第20週10月6日は足元が悪い中、4試合が行われました。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対三友クラブ戦は、センターをバックネットとしての試合。三友クラブは二回に先制するも、三回以降は1安打にジャガーズ内田投手に抑え込まれている隙に、ジャガーズ九番稲富選手のHRを含む2打点の活躍でジャガーズが2-1で辛くも逆転勝利。

青松園Bのレッドサンデーズ対新町パイレーツの共に3勝4敗1分同士の戦いは、初回から1点を先制したレッドだったが、満塁のチャンスを潰すと、二回表もあわや二三塁のチャンスも潰し波に乗り切れない間に、相手エラーで溜めたランナーをタイムリーで返すパイレーツの卒のなさが終わってみれば3-10の大差でパイレーツの勝利。これでパイレーツは5割復帰。

青松園Aの奈多サンデーズ対奈多フェニックスの昨年、一昨年の優勝チーム同士の戦いは、初回2点を取り合い、迎えた二回表サンデーズが2点、四回表にも1点を取り3点をリードするが、この試合に勝てば勝ち点で並ぶフェニックスが意地を見せ四回裏に四連打で追いつく。両チーム最終回は二塁までランナーを進めるも決め手を欠き5-5の引き分け。

雁レクDのソルトベイズ対三苦ホーネッツ戦は、一時は逆転を許すも先制、同点、勝ち越し、ダメ押しとソルトベイズの理想的な展開で7-2の勝利。四~七回まで一人のランナーを許さなかったソルト鶴野投手とダメ押し3ランを放った四番中村耕一郎選手の活躍が光った。

プロ野球もCSのファーストステージが終了し、セパどちらも3位のチームが勝ち進みセカンドステージが始まります。

WSLも奈多サンデーズが一步抜き出していますが、今後の展開次第では、今年もプレーオフの可能性も。

順調に試合が消化されれば11月末日で全日程終了、12月1日に和白リーグカップ、8日納会となっていくでしょう。

またそろそろ個人タイトルの行方も気になりますね。

今年はHRが3本がトップと例年に比べ少な目です。確かHR王の対象は5本以上ですよ。

これはチャンスです！